

〈2026年9月・2027年4月入学〉

早稲田大学大学院  
環境・エネルギー研究科

修士課程 一般入学試験要項  
(飛び級入学試験を含む)

■個人情報の取り扱いについて

本学では、志願時に収集した個人情報(住所・氏名・生年月日等)を、入学試験実施、合格発表、入学手続およびこれに附随する業務のために利用します。その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等がないよう、必要かつ適切な管理を行います。また、上記業務の全部又は一部を委託する場合があります。その場合、委託先に対し、契約等により、必要かつ適切な管理を義務付けます。本学に提出された書類・資料・論文および提供された情報等(「本提出書類等」といいます。)につき、その真正性等について、本学が発行元・提供元および論文審査機関等に対して、本提出書類等を提供して問合せをすることがあります。志願者は本提出書類等を本学に提出または提供したことをもって、本学がこの問合せを行うことに同意したものとします。これらの他、個人が特定されないように統計処理した個人情報を、本学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用します。

## 目 次

環境・エネルギー研究科 アドミッション・ポリシー	1
1. 募集人員	1
2. 出願資格	2
3. 出願について	3
4. 出願期間	3
5. 入学検定料	3
6. 入学検定料の支払い方法	3
7. 入学検定料の返還について	6
8. オンライン出願システム（TAO）への情報登録、出願書類提出	6
1) オンライン出願用アカウントの作成	6
2) TAOに登録する情報、アップロードする出願書類	7
9. 郵送による出願書類提出	8
1) 郵送による出願書類提出方法	8
2) 郵送により提出する出願書類	8
10. 出願書類偽造についての注意事項	11
1.1. 受験・就学上の配慮	11
1.2. 受験番号の発行および受験票について	11
1.3. 選考	11
1) 選考日程	11
2) 選考方法	11
3) 試験会場	12
4) 受験上の注意	12
14. 不正行為について	12
15. 免責事項	13
16. 合格発表	13
1) 日程	13
2) 方法	13
17. 入学手続	13
18. 入学金免除	14
19. 入学辞退にともなう学費返還	14
20. 在留資格「留学」の取得について	14
2.1. 学費・諸会費	15
2.2. 奨学金	15
2.3. その他	15
2.4. 連絡先	16
研究指導および担当教員	16
試験場案内	18

## 環境・エネルギー研究科 アドミッション・ポリシー

早稲田大学では、『学問の独立』の教育理念のもとで、一定の高い基礎学力を持ち、かつ知的好奇心が旺盛で、本学の理念である進取の精神に富む、勉学意欲の高い学生を、わが国をはじめ世界から多数迎え入れる。

環境・エネルギー研究科では、学門領域統合型アプローチでの研究教育と国際的視点の涵養を目指しており、理系ならびに文系、社会人、留学生等、さまざまな経歴の人材を受け入れている。

修士課程では、環境・エネルギー分野に関連する理工学、社会・人文科学などの専門分野を習得するための専門知識と能力、探求心、また、学問領域統合型アプローチによる実践的・戦略的な活動への意欲を有することが求められる。

博士後期課程では、これらの専門分野の発展・深化に貢献するのみならず、環境・エネルギー分野において新しい分野に創造的に取り組む高度な専門知識と能力、開拓精神と倫理観を有することが求められる。

修士課程においては、早稲田大学内の学生を対象とした推薦入試、専門科目・面接により選考を行う一般入試、口頭試問およびプレゼンテーションにより選考を行うAO入試、協定校との外国人特別選考を実施する。一般入試においては、専門科目の知識習得度および研究計画によって選抜を行う。AO入試においては、学士課程における卒業論文等の成果(分野は問わない)や当研究科における研究への意欲、研究計画能力等を総合的に評価する。日本語における円滑なコミュニケーションができることを条件としている。

博士後期課程においては、修士課程と同様の入試制度を踏襲し、博士号取得に必要な能力を備え、多岐にわたる環境・エネルギー分野における高い専門性、経験、理論、意欲を有することが求められる。とりわけ、学会・論文等の研究業績を評価の対象としている。

### 1. 募集人員

2026年9月入学

若干名(※「飛び級入学」を含む)

2027年4月入学

50名(定員)(※「飛び級入学」を含む)

※大学に3年以上在学する者に係わる特別選抜制度

募集する研究指導は以下のとおりです。

研究指導	指導教員	授与学位
環境・パワーシステム研究	教授 草鹿 仁	工学・学術
環境・エクセルギー工学研究	教授 中垣 隆雄	工学・学術
環境システム評価研究	教授 納富 信	工学・学術
環境・電気エネルギー研究	教授 紙屋 雄史	工学・学術
環境配慮エネルギー・循環システム研究	教授 小野田 弘士	工学・学術
環境共生・地域社会システム研究	教授 野津 喬	学術
環境・エネルギーガバナンス研究	教授 馬場 健司	工学・学術
環境・物理化学プロセス研究	准教授 大内 隆成	工学・学術
環境・エネルギーシステム工学研究	准教授 大槻 貴司	工学・学術

※出願期間前に希望指導教員に事前コンタクトをとることを推奨します。

## 2. 出願資格

次の①～⑦いずれかの要件を満たす者。ただし、各要件とも、2026年9月入学志願者は2026年9月20日まで、2027年4月入学志願者は2027年3月末日までの卒業見込者を含みます。

- ① 大学を卒業した者、または卒業見込みの者。
- ② 大学改革支援・学位授与機構により、学士の学位を授与された者、または授与される見込みのある者。
- ③ 外国において通常の課程による16年の学校教育を修了した者、または修了見込みの者。
- ④ 外国の大学やその他の外国の学校において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者、または授与される見込みのある者。
- ⑤ 文部科学大臣の指定した者。
- ⑥ 大学に3年以上在学し、または外国において学校教育における15年の課程を修了、または修了見込みの者で、当研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者。(飛び級入試対象者:注1)
- ⑦ 当研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時に22歳に達する者。

※「③外国において通常の課程による16年の学校教育を修了した者」とは、「日本国外の正規の学校教育における「16年目の課程」を修了した者」という意味です。16年間教育を受けたかではなく、「16年目の課程を修了しているかどうか」で判断します。

※初等～高等教育までの正規の課程の年数が16年未満の国の課程を修了した方は、事前に学歴の審査を行います。“学歴確認フォーム”を下記のサイトからダウンロードし、必要事項を記入のうえ、早稲田大学入学センター国際アドミッションズ・オフィスまでお問い合わせください。

・学歴確認フォーム ダウンロードサイト

<https://www.waseda.jp/inst/admission/en/graduate/japanese/>

・問い合わせ先メールアドレス

[admission@list.waseda.jp](mailto:admission@list.waseda.jp)

### 注1: 飛び級入試

以下の全条件に該当する者が対象者です。

- ・ 出願時に4年制大学の3年次に在学中の者(休学中を除く)
- ・ 2年終了時に卒業必要単位の1/2以上を取得し、取得単位の2/3以上が最上級(100点満点中90点以上)の評価であり、かつ3年終了時に卒業必要単位の3/4以上を取得見込みの者。なお、3年終了時に上記の基準が達成できていない場合には、合格を取り消します。
- ・ 当研究科および受入予定の指導教員の許可を得た者

※⑥、⑦の出願資格の確認を希望する方は、出願期間初日より2ヶ月前までに、当研究科入試係に連絡してください。(weee-ent@list.waseda.jp)

事前連絡がない場合、出願は認められません。

※最終学歴が中国の大学の専科(3年制)の場合には、上記④、⑥には該当しません。ただし、専科を卒業後に本科を卒業して16年の学校教育を修了した場合は出願を認めます。

※当研究科が実施する各試験制度を併願することの可否については、当研究科入試係へお問い合わせください。

※本学(学校法人早稲田大学が設置する早稲田大学その他の学校をいう。以下同じ。)の教員は、本学の学籍を有することができませんので注意してください。ただし、規程上認められている場合もありますので、不明点がある場合は所属箇所事務所を通じて本部にお問い合わせください。

### 3. 出願について

以下の手順に従い、出願期間内に入学検定料支払い、指定のオンライン出願システム(The Admissions Office (以降,TAO と表記します。))への情報登録、指定された出願書類の提出・受理をもって出願が完了します。

尚、顔写真や各種機関から発行された証明書等は、修正や加工をせずにそのまま提出してください。顔写真や証明書等に何らかの修正や加工をすることは厳に禁じます。修正や加工をした場合は不正行為となる場合があります(12ページの「不正行為」に関する注意も合わせて参照のこと)。

### 4. 出願期間

提出方法	指定のオンライン出願システム(TAO)への情報登録 および 指定書類の郵送(持参不可)
入学検定料支払い期間	2026年6月3日(水)~2026年6月9日(火)<日本標準時間>
オンライン出願システムへの 情報登録、出願書類提出可能 期間	※オンライン出願システムは、出願初日 10:00 から。なお、出願最終日 23:59 までにシステム上での入力・アップロードを完了すること。 ※日本国内から発送の場合は、消印有効(日本国外から発送の場合は、期 間内必着)
郵送による出願書類提出期間	

### 5. 入学検定料

35,000円

### 6. 入学検定料の支払い方法

次のいずれかの方法で入学検定料を支払ってください。尚、支払手数料については、志願者負担となります。

#### コンビニエンスストアでの支払い

- ・ 入学検定料は最寄りのコンビニエンスストアで支払ってください。
  - ・ コンビニエンスストアでの支払いに際しては、事前にパソコンもしくは携帯電話よりインターネット上の「入学検定料コンビニ支払いサイト」(<https://e-shiharai.net/>)にアクセスをして所定の申込手続を完了させる必要があります。
  - ・ 支払い終了後、**出願者の氏名、支払日、支払金額を含んだ「収納証明書」の画像写真を取り、オンライン出願システム(TAO)の該当欄にアップロードしてください。**支払い方法の詳細については、4ページの「早稲田大学コンビニエンスストアでの検定料払込方法」を参照してください。
  - ・ 支払いは、土日・祝日を問わず、24時間いつでも可能です。ただし、納入期間最終日の「Webサイトでの申込」は23:00まで、コンビニエンスストア店頭での支払手続は23:30までとなりますので注意してください。
- ※家族・知人が代理で手続をする場合でも、必ず志願者本人の情報を入力するようにしてください。  
※コンビニエンスストアでの支払いが困難な方は、事前に当研究科まで連絡してください。

#### クレジットカード決済による支払い

- ・ クレジットカード・中国オンライン決済での支払いに際しては、パソコンもしくは携帯電話等により「インターネット上の支払いサイト」(<https://e-shiharai.net/card/>)にアクセスをして所定申込手続を完了させる必要があります。
  - ・ 支払い終了後、『**入学検定料・選考料取扱明細書**』の「**申込内容照会結果**」の**画像データを保存しオンライン出願システム(TAO)の該当欄にアップロードしてください。**支払い方法の詳細については、5ページの「早稲田大学クレジットカード・銀聯カードでの検定料支払方法」を参照してください。
- ※支払いは、土日・祝日を問わず、24時間いつでも可能です。  
※支払いに使用するカードは志願者本人以外の名義でも構いません。ただし、家族・知人が代理で手続をする場合でも、「基本情報」には必ず志願者本人の情報を記入するようにしてください。

# 早稲田大学 コンビニエンスストアでの検定料払込方法

検定料はコンビニエンスストア「セブン-イレブン」「ローソン」「ミニストップ」「ファミリーマート」で24時間いつでも払い込みが可能です。

## ① まずはパソコン、スマートフォンで事前申込み

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。



<https://e-shiharai.net/>



端末の未成年者アクセス制限サービスは解除してご利用ください。

※入力内容を間違えた場合は、始めからもう一度やり直し、新たな番号を取得してお支払いください。  
申込み完了後に通知する支払期限内に代金を支払わなければ、入力情報は自動的にキャンセルされます。

## ② コンビニでお支払い

- 検定料はATMでは振込できません。必ずレジでお支払いください。
- 「収納証明書」には収納印は押印されません。(コンビニ払込時には収納印は不要です)

【払込票番号 (13ケタ)】

●レジにて「インターネット支払い」と店員に伝え、プリントアウトした【払込票】を渡すか、【払込票番号】をお伝えください。

マルチコピー機は使用しません

●レジにて代金をお支払いください。

●その際、「入学検定料・選考料 取扱明細書」を受け取ってください。

【お客様番号 (11ケタ)】  
【確認番号 (4ケタ)】

Loppiへ

各種サービスメニュー

各種代金・インターネット受付  
(紫のボタン)

各種代金お支払い

マルチペイメントサービス

【お客様番号】【確認番号】を入力

●端末機より「申込み控え」(レシート)が出力されますので、30分以内にレジでお支払いください。

●その際、「入学検定料・選考料 取扱明細書」を受け取ってください。

※画面ボタンのデザイン等は、予告なく変更される場合があります。

【お客様番号 (11ケタ)】  
【確認番号 (4ケタ)】

マルチコピー機へ

代金支払い

番号入力画面に進む

【お客様番号】【確認番号】を入力

## ③ 出願

出願者の氏名、支払日、支払金額を含んだ「収納証明書」の画像写真を取り、オンライン出願システム(TAO)の該当欄にアップロードしてください。

### ■注意事項

- 出願期間を入試要項でご確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日の「Webサイトでの申込み」は23:00まで、店頭端末機の操作は23:30までです。
- 一度お支払いされた検定料は、コンビニでは返金できません。
- 取扱いコンビニ、支払い方法は変更になる場合があります。変更された場合は、Webサイトにてご連絡いたします。

●検定料の他に事務手数料が別途かかります。※事務手数料は変更になる場合があります。

事務  
手数料

入学検定料金額	事務手数料(消費税込)
～ 9,999 円	500 円
10,000 円 ～ 29,999 円	570 円
30,000 円 ～ 49,999 円	600 円
50,000 円 ～ 99,999 円	820 円
100,000 円 ～	890 円

「検定料納入」についてのお問い合わせは、コンビニ店頭ではお応えできません。詳しくはサイトでご確認ください。

<https://e-shiharai.net/>

# 早稲田大学 クレジットカード・銀聯カードでの検定料支払方法

24時間・365日いつでも支払いOK!これが簡単・便利なシンプルスタイル!

クレジットカード・銀聯カードを利用して検定料のお支払いが可能です。     

Web申込みオンライン決済

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。



<https://e-shiharai.net>

端末の未成年者アクセス制限サービスは解除してご利用ください。



**1. トップページ**

お支払い先を選択してください。

**2. 学校選択**

申し込みをする学校の学校名をクリックしてください。

**3. 学校案内**

注意事項等を確認のうえ、個人情報の取扱について同意してください。

**4. カテゴリ選択**

第1～第4選択を選択して「次へ」をクリック

**5. 基本情報入力**

申込者本人の基本情報を入力してください。  
支払い方法を選択し、「次へ」をクリック

**クレジットカードの場合**

支払いに利用するカード番号(16桁)を入力してください。  
※American Expressの場合は15桁  
※お支払いされるカードの名義人は申込者本人でなくても構いません。

全入力内容が表示されますので、  
よろしければ「上記の内容で確定する」をクリック

「申込内容照会」にアクセスし「照会結果」を印刷する  
携帯電話をご利用の場合は、プリンタのある環境で申込内容照会を行ってください。

**銀聯カードの場合**

画面の指示に従って、支払いを完了してください。

「申込内容照会」にアクセスし「照会結果」を印刷する



出願

**「申込内容照会結果」の画像データを保存し、  
オンライン出願システム(TAO)の該当欄にアップロードして  
ください。**

**【注意事項・よくあるお問合せ】**

- 出願・申請書類に記載されている支払い期間内であれば、いつでもお支払い可能です。支払い期間を入試要項でご確認のうえ、出願に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日は日本時間の23:00までにカード決済を完了させてください。
- 銀聯カードで決済する場合は、パソコンからお申し込みください。
- カードの名義人は、申込者本人でなくても構いません。但し、基本情報入力画面では、必ず申込者本人の情報を入力してください。
- 申込内容照会は、e-shiharaiサイトの「申込照会」にて、お申し込み時に通知された【受付番号】【生年月日】を入力すると表示されます。
- カード審査が通らなかった場合は、カード会社へ直接お問い合わせください。

**■手数料について**

検定料の他に事務手数料が別途かかります。

入学検定料金額	事務手数料(消費税込)
～ 29,999 円	565 円
30,000 円 ～ 49,999 円	1,005 円
50,000 円 ～ 69,999 円	1,446 円
70,000 円 ～ 99,999 円	1,833 円
100,000 円 ～ 199,999 円	2,074 円
200,000 円 ～ 299,999 円	2,618 円
300,000 円 ～	4,400 円

事務手数料は変更になる場合があります。

クレジットカード・銀聯カードでの検定料納入についてのお問い合わせは、サイトのよくある質問をご確認ください。

## 7. 入学検定料の返還について

一度提出した書類および納入した入学検定料は、原則として返還いたしません。ただし、下記のケースに該当する場合は、入学検定料に限り返還いたします。該当する方は早稲田大学環境・エネルギー研究科事務所入試係 ([weee-ent@list.waseda.jp](mailto:weee-ent@list.waseda.jp))までご連絡ください。

- 1) 入学検定料を支払ったが、出願書類を提出しなかった。
- 2) 入学検定料を支払ったが、出願締切後に出願書類を提出した。
- 3) 入学検定料を支払い、出願書類を提出したが、出願書類の不備や出願資格を満たしていない等の理由により、出願が受理されなかった。
- 4) 入国制限・渡航制限により日本に入国できなかったことにより、本学での試験を受験できなかった。

なお、クレジットカードにより入学検定料を納入した場合や、日本国外の金融機関口座へ入学検定料を返還する場合、返還に伴い発生する手数料等は志願者の負担となります。

## 8. オンライン出願システム(TAO)への情報登録、出願書類提出

### 1) オンライン出願用アカウントの作成

出願書類は指定のオンライン出願システム The Admissions Office (以降、TAO と表記します。)を通して所定の期間内に提出いただけます。以下の URL より「会員登録」をクリックして出願を開始してください。

<https://admissions-office.net/portal>



登録するアカウント名は、パスポート(パスポートを所持していない場合は、本国の戸籍謄本または市民権などの証明書)に記載された正式な氏名をアルファベット表記で作成してください。

TAO アカウントを作成後、「募集検索」メニューを利用し、「早稲田大学/環境・エネルギー研究科 (WEEE) /環境・エネルギー専攻/修士課程:一般入試」を検索し、TAO システム及びこの入試要項の指示に従って、入力・アップロードしてください。

- ・ TAO 上でアカウントを作成することで、TAO 提供会社である(株)サマデイに規定された「利用規約」や「個人情報の取扱」に同意したものと見なされます。
- ・ この入試に出願するために、TAO トップメニューの「基本情報」(出願者情報)を作成する必要はありません。当研究科はこちらのセクションに記載された情報を利用することはありません。(当入試のオンライン出願フォーム上で志願者基本情報を入力頂く形となります。)
- ・ 出願を完了するためには入力が必要なセクションがいくつもありますが、どこから入力を開始していただいても構いません。しかしながら、「必須」と書かれた項目が入力完了されるまでは、「保存して次へ」ボタンを押して完了することはできません。
- ・ 当研究科から出願に関して連絡することがありますので、TAO で登録したEメールアカウントは定期的を確認するようにしてください。当研究科・出願システムの所定ドメイン(list.waseda.jp)からのメールが確実に受信できるように設定してください。出願者の不備により当研究科からの連絡を受信・返信できない場合に対し、当研究科は一切の責任を負いません。
- ・ システム管理上の都合により、入試要項に記載されている TAO 上の用語が、実際の出願期間の TAO では変更されている場合があります。

## 2)TAOに登録する情報、アップロードする出願書類

	項目	様式	注意事項
a.-1.	TAOオンライン出願フォームへの入力 (全員)	-	<p>画面の指示に従って入力してください。</p> <p>・ここで入力されたE-mailアドレスに当研究科から連絡する場合がありますので、日常使用しているE-mailアドレスを入力してください。</p> <p>なお、国籍、性別、連絡先情報、指導希望教員(第1～第6希望)に加え、小学校入学からの学歴(入学、卒業、転編入年月日を含む)、職歴(就職、離職などがあればその年月日含む)等を入力していただきますので、あらかじめ、学校の正式名称、各年月日を確認しておいてください。</p> <p>本学では、入学試験の円滑な実施と入学手続の必要上、合理的理由があると判断される必要最小限に留め、戸籍またはパスポート等の公的書類上の性別情報を収集しています。パスポート等の公的書類上の性別が男女のいずれでもない方は、出願に先立ち、メールで当研究科(<a href="mailto:weee-ent@list.waseda.jp">weee-ent@list.waseda.jp</a>)までご連絡ください。性別情報が合否に影響を及ぼすことは一切ありません。 <a href="https://www.waseda.jp/inst/diversity/support/sexual-minority/">https://www.waseda.jp/inst/diversity/support/sexual-minority/</a></p> <p>アンケート項目についてもご回答ください。今後の入試広報等の参考にさせていただきます。なお、このアンケートは入学選考の対象外です。</p>
a.-2.	証明写真 (全員)	-	<p>以下の全要件に合致する写真をアップロードしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>出願時から3ヶ月以内に撮影したカラー写真(タテ4:ヨコ3の比率・上半身・正面・無帽・無背景・枠なし)をアップロードしてください。なお後述のとおり、入学手続時には出願時と同じ写真のデータ版をアップロードすることとなりますので、カラー写真データは大切に保管しておいてください。</li> <li>マフラーやサングラスなどを着用したままで撮影された写真は受け付けません。ただし、医療上、宗教上の理由で帽子等を着用した写真を提出したい場合は、出願に先立ち、お問合せください。</li> <li>顔写真は、試験当日の本人確認として使用しますので、スナップ写真等の不鮮明な写真や、髪型の違い等により個人の判別・本人確認が困難な写真は受け付けません。</li> <li>顔写真には加工・修正を施さないでください。</li> <li>スマートフォン等で個人が撮影・印刷された写真は受け付けません。必ず証明写真(スピード写真可)で撮影してください。</li> <li>入学手続時に学生証用の写真を別途アップロードすることとなりますが、その際は出願時と同じ写真を使用してください。なお入学手続時にアップロードした写真は学生証のほか、学内諸手続における本人確認および学内の各種Webサービス等に本人情報として登録しますので、あらかじめご了承ください。</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>提出書類の偽造・虚偽(顔写真の加工・修正等)が判明した場合、不正行為認定の対象となります。</p> </div>
a.-3.	入学検定料の支払いを証明するもの (全員)	-	<p>出願者の氏名および支払金額が明示された入学検定料支払証明書のデータ(PDFや画像)をアップロードしてください。詳細はP.3入学検定料の支払い方法の項の記載を確認してください。</p>
a.-4.	修士課程入試面接票 (全員)	所定用紙	<p>学部有的时候に取り組んだ研究や志望理由、入学後の研究計画の概要等を記入し、PDFに変換してアップロードしてください。</p>
a.-5.	パスポート (外国籍者のみ)	-	<p>顔写真が掲載されたページの画像データを提出してください。</p>

a.-6.	住民票 または 在留カード (日本国内在住の外国 籍者のみ)	-	a.「住民票」を提出する場合は、必ず「国籍」「在留資格」「在留期間」「在留期間満了日」「在留カード等番号」が記載された住民票を取得し、アップロードして下さい。 b.「在留カード」を提出する場合は、表・裏両面をアップロードして下さい。
-------	---	---	---

所定用紙は当研究科Webサイト

<https://www.waseda.jp/fsci/gweee/applicants/admission/application/>からダウンロードしてください。

※Wordで作成する場合は、書式を崩したりページを増やしたりしないでください。記載事項がない場合でも、項目を消去しないでください。

## 9. 郵送による出願書類提出

### 1) 郵送による出願書類提出方法

日本国内からの発送は消印有効とし、期間中の消印のない願書は一切受け付けません。日本国外から発送する場合は、2026年6月9日(火)必着とします。

- ・市販の角2号封筒(A4判が折らずに入る大きさ)を使用し、「簡易書留郵便」で郵送してください。また、出願締切日が間近な時は、「簡易書留郵便・速達便」で郵送してください。
- ・送付する封筒の表面に「**修士一般入試願書在中**」と朱書してください。
- ・出願書類受理証明書等は発行しませんので、出願者が郵便追跡サービス等で確認してください。

《出願書類郵送先》

〒169-8555

東京都新宿区大久保 3-4-1 西早稲田キャンパス 51号館 1階

早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科 入試係

### 2) 郵送により提出する出願書類

所定用紙は当研究科Webサイト

<https://www.waseda.jp/fsci/gweee/applicants/admission/application/>からダウンロードしてください。

※Wordで作成する場合は、書式を崩したりページを増やしたりしないでください。記載事項がない場合でも、項目を消去しないでください。

※Word文書として入力後、A4サイズ・片面で印刷し提出してください。手書きの場合は、黒のペンまたはボールペンを使用してください。文字は楷書、数字は算用数字で記入してください。

	提出書類	様式	注意事項
b.-1.	各種証明書 (全員)	原本	<p>卒業証明書(卒業見込みの方は卒業見込証明書)および成績証明書</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>当学(早稲田大学)発行の各種証明書を提出する場合、デジタル証明書(原本)提出してください。</b>当学(早稲田大学)発行のデジタル証明書の発行申請については、次のURLより確認してください。 <a href="https://www.waseda.jp/inst/wpo/students/certificate">https://www.waseda.jp/inst/wpo/students/certificate</a></li> <li>【送付先情報】 提出先名称: 早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科 提出先メールアドレス: <a href="mailto:wwee-nyusi@list.waseda.jp">wwee-nyusi@list.waseda.jp</a> ※編入している方は、編入学前の成績証明書の提出も必要です。 ※卒業証明書および成績証明書は、入学手続の際に提出していただきます。</li> <li>・ 必ず原本を提出してください。コピーは受理しません。</li> <li>・ 編入している者は、編入学前の成績証明書も提出してください。</li> <li>・ 卒業見込証明書が発行されない場合は、在学証明書を提出してください。</li> <li>・ 証明書は日本語または英語で書かれたものを提出してください。日本語または英語で発行できない場合は、翻訳文(英語</li> </ul>

			<p>または日本語)を作成し、翻訳文の内容が正しいことを証明する公証書(原本)とあわせて提出してください。</p> <p><b>中国の大学を卒業(見込みの方含む)方は、上記に加え、以下の事項も確認し、提出してください。CSSD(CHESICC)からの書類も出願書類提出期限までに当研究科に到着させてください。CSSDからの書類は、出願期間前でも受け付けます。</b></p> <p><b>◆中国の教育機関を卒業した方は、次の①、②が必要です。</b></p> <p>① 证书编号が記載されている<b>卒業証明書</b>、<b>学位取得証明書</b>、および<b>成績証明書</b>(いずれも日本語または英語。原本であること)の郵送提出。</p> <p>② CHSI(中国高等教育学生信息网)が発行する、<b>学歴認証報告書(英語版)(Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate)</b> および <b>学位取得の認証書(英語版)(Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate)</b> の2つがCSSDから環境・エネルギー研究科事務所(weee-nyusi@list.waseda.jp)へメールで直送されるよう手配してください。</p> <p><b>◆中国の教育機関を卒業見込の方は、次の①、②が必要です。</b></p> <p>① 大学発行の<b>卒業見込証明書</b>、<b>成績証明書</b>(いずれも日本語もしくは英語版。原本であること)の郵送提出。</p> <p>② CHSI(中国高等教育学生信息网)が発行する<b>学籍の認証書(英語版)(Online Verification Report of Student Record)</b>をCSSD から環境・エネルギー研究科事務所(weee-nyusi@list.waseda.jp)へメールで直送されるよう手配してください。</p> <p>詳細についてはCSSDのWebサイトをご確認ください。  <a href="https://www.chsi.com.cn/en/pvr/">https://www.chsi.com.cn/en/pvr/</a>  CSSD(CHESICC)から直接メールで届く、英語版の認証書のみ有効とします。</p> <p>飛び級入学試験志願者は、在学証明書および成績証明書、科目登録証明書、当研究科発行の受験許可書</p>
b.-2.	受験承諾書 (対象者のみ)	所定用紙 原本	出願時に他大学の研究科または当学の他研究科に正規学生として在籍している場合は提出してください。
b.-3.	英語能力証明書 (全員)	原本	<p>以下1)~3)のうちいずれか1点</p> <p><b>・試験実施団体から当研究科への直送を原則とします。ただし、国外受験等により直送対象外の場合は、他出願書類と同封の上、当研究科まで英語能力証明書(原本)を郵送してください。</b></p> <p>・原本を提出してください。インターネットのスクリーンショット等を提出した場合は出願が無効となります。</p> <p>・提出されたスコアカードは返却しません。</p> <p>・自宅等から受験可能な試験(TOEFL iBT Home Edition, TOEFL iBT Paper Edition, IELTS Online 等)は原則として不可です。</p> <p>・出願受付開始日から2年以内に受験した英語テストスコアレポートのみ有効です。提出可能な英語テストは以下の通りです。</p> <p><b>1) TOEIC L&amp;R (Official Score Certificate)</b></p> <p>「Official Score Certificate」(公式認定証)が、試験実施団体から当研究科事務所(Graduate School of Environment and Energy Engineering, Waseda University)へ直接送付(郵送)されるように依頼してください。「Official Score Certificate」(公式認定証)が出願締切日までに当研究科に届くよう、早めに依頼してください。</p> <p>TOEIC 団体Webサイト  <a href="https://www.iibc-global.org/toEIC/test/lr/guide04/score.html">https://www.iibc-global.org/toEIC/test/lr/guide04/score.html</a></p> <p><b>【送付先情報】</b>  学校機関名・学科：早稲田大学</p>

			<p>部署・係：大学院環境・エネルギー研究科入試係 住所：〒169-8555 東京都新宿区大久保3-4-1 西早稲田キャンパス51号館1階</p> <p><b>2) TOEFL-iBT (Official Score Report)</b> 「Official Score Report」が試験実施団体から当研究科事務所（Graduate School of Environment and Energy Engineering, Waseda University）へ直接送付（郵送）されるように依頼してください。「Official Score Report」が出願締切日までに当研究科に届くよう、早めに依頼してください。 TOEFL団体Webサイト <a href="http://www.ets.org">http://www.ets.org</a> DIコード(Designated Institution Code): C324</p> <p><b>3) IELTS Academic (Additional Test Report Form)</b> 「Additional Test Report Form」(追加成績証明書)が、試験実施団体から当研究科事務所(Graduate School of Environment and Energy Engineering, Waseda University)へ直接送付(郵送)されるように依頼してください。「Additional Test Report Form」(追加成績証明書)(郵送)が出願締切日までに当研究科に届くよう、早めに依頼してください。 IELTS団体Webサイト <a href="https://ieltsjp.com/japan/results/additional-trf">https://ieltsjp.com/japan/results/additional-trf</a></p> <p>【送付方法】 「郵送/By post」を選択</p> <p>【送付先情報】 送付先大学・機関名：早稲田大学(Waseda University) 提出先(部署名・学部名・担当者名)：大学院環境・エネルギー研究科入試係(Admissions Office, Graduate School of Environment and Energy Engineering) 送付先住所(Country)：日本(Japan) 送付先住所(ZIP/Postal Code)：169-8555 送付先住所(State/Province)：東京都(Tokyo) 送付先住所(City/Ward)：新宿区(Shinjuku-ku) 送付先住所(Street address/Building name)：大久保3-4-1 西早稲田キャンパス51号館1階(1F, Building No.51, Nishi-Waseda Campus, 3-4-1 Okubo)</p> <p>(※TOEIC IP, TOEIC S&amp;W, TOEIC Bridge、TOEFL ITP, TOEFL PBT, TOEFL CBT, IELTS General Training, TEP-TEST等は無効です。)</p>
b.-4.	日本語能力試験の「認定結果及び成績に関する証明書」 または 日本留学試験の「成績通知書」 (外国籍者のみ)	原本	<p>以下 1)、2)のうちいずれか1点</p> <p><b>・試験実施団体から当研究科への直送を原則とします。ただし、<u>国外受験等により直送対象外の場合は、他出願書類と同封の上、当研究科まで日本語能力証明書(原本)を郵送してください。</u></b></p> <p>・以下1)および2)の試験を受験できなかった場合は、大学およびその他の日本語教育機関による、日本語能力に関する証明書または所見を提出してください。</p> <p><b>1) 日本語能力試験(JLPT)N2 合格以上の「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」</b> 日本語能力試験(JLPT)N2 合格以上の「認定結果及び成績に関する証明書」が、試験実施団体から当研究科事務所(Waseda University Graduate School of Environment and Energy Engineering)へ直接送付されるように依頼してください。「認定結果及び成績に関する証明書」が出願締切日までに当研究科に届くよう、早めに依頼してください。 ※「日本語能力試験合否結果通知書」は提出しないでください。</p>

			<p>日本語能力試験(JLPT)団体 Web サイト  <a href="https://www.jlpt.jp/certificate/index.html">https://www.jlpt.jp/certificate/index.html</a></p> <p>【送付先情報】  〒169-8555 東京都新宿区大久保 3-4-1  西早稲田キャンパス 51 号館 1 階  (1F, Building No.51, Nishi-Waseda Campus, 3-4-1 Okubo, Shinjuku-ku, Tokyo, 169-8555, Japan)  早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科 入試係  (Admissions Office, Graduate School of Environment and Energy Engineering, Waseda University)</p> <p>2) 日本留学試験(EJU)の「日本留学試験 成績通知書」を提出の場合は、他出願書類と一緒に郵送してください。</p>
b.-5	留学にかかる経費負担計画書 (外国籍者のみ)	所定用紙 原本	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 所定の用紙に、当学に留学する間の総費用(2年分の学費および生活費)をどのように負担するのかについて記入してください。※志願者本人の署名を忘れないようにしてください。</li> <li>• 経費負担計画書の「政府またはその他財団」の欄に記入された方は、給付金額および給付期間を明示した奨学金の給付に関する証明書(原本)を提出してください。日本語または英語で発行されていない奨学金受給証明書を提出する場合は翻訳文も提出してください。翻訳文の内容を証明する公証書の提出は不要です</li> <li>• 日本に永住権のある場合は不要です。</li> </ul>

## 10. 出願書類偽造についての注意事項

本学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為認定の対象となります。不正行為と認められた場合、入学試験の結果を無効とすることがあります。なお、その場合も提出された書類・資料等および入学検定料は返還しません。

## 11. 受験・就学上の配慮

障がいや疾病等により、受験・就学に際して配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、本研究科までお問合せください。また、大きな病気やけがのため、受験に支障をきたす恐れがある場合、あるいは出願後にそのような状態になった場合でも、速やかにお問合せください。

## 12. 受験番号の発行および受験票について

- 出願が受理された志願者に対し、試験日の1週間前を目処にTAO上において受験番号を発行します。書類や提出された情報等に不備がある場合は、その不備状況が解消されるまでは、受験番号は発行されませんので、注意してください。試験日の1週間前になっても受験番号が発行されない場合は、当研究科入試係に問い合わせてください。
- 受験票に記載されている内容に誤りがある場合は、直ちに当研究科入試係に問い合わせてください。
- 受験票はTAOから印刷し、試験実施日には持参してください。また、入学時に学生証と引き換えに回収しますので、入学まで大切に保管してください。

## 13. 選考

### 1) 選考日程

第1次試験(筆記)	第2次試験(面接)
7月 5日(日)	7月19日(日)
10:00~12:00	第1次試験合格者宛てにTAOより通知

※筆記選考の開始 15 分前までに試験会場で着席してください。

※筆記選考の開始 20 分後からは試験会場に入室できません。

※面接選考の実施時間等は、第1次試験合格者宛てに TAO よりお送りいたします。

### 2) 選考方法

- 第1次試験(筆記)と第2次試験(面接)により選考します。
- 第1次試験(筆記)合格者に対して、第2次試験(面接)を実施します。

#### 【第1次試験】

専門科目の筆記試験を実施します。

- 2科目4題を出題します。4題の中から自由に2題を選択してください。

文系出身者が(1)工業熱学を、理系出身者が(2)環境・エネルギー政策等を選択しても構いません。

- ・(1)工業熱学を選択するときは、関数計算ができる電卓を使用できます。持参してください。ただし、プログラム機能のある電卓は、プログラムを消去してください。プログラムを消去していない場合は使用不可とします。
- ・筆記試験の過去問題は入学センターWebサイト([https://www.waseda.jp/inst/admission/graduate/past\\_test/](https://www.waseda.jp/inst/admission/graduate/past_test/))で確認できます。

科目	出題範囲・内容
(1)工業熱学 (主に理系出身者用)	熱力学の第一法則と第二法則、各種熱力学サイクル、定常流れ系のエネルギー・エクセルギーバランス、蒸気・伝熱の基礎
(2)環境・エネルギー政策等 (主に文系出身者用)	環境・エネルギー政策及びそれに関連する法制度、持続可能な発展のための企業・NPO・市民等の環境取組及びその普及に係る規格や認証システム等

### 3)試験会場

第1次試験(筆記)	西早稲田キャンパス(予定)
第2次試験(面接)	西早稲田キャンパス(予定)

- ① 第1次・第2次試験とも、西早稲田キャンパスで実施予定です(18ページ「試験場案内」参照)。
- ② 試験教室(第1次・第2次試験とも)ならびに注意事項は、試験当日、会場に掲出します。

### 4)受験上の注意

- ① 試験場には、受験票(TAOから各自印刷してください)、筆記用具、電卓を持参してください。電卓については、キーを押下すると音が鳴る場合は他の受験生の迷惑となりますので、事前に音を消しておいてください。
- ② 試験開始20分経過後の試験室への入場は一切認めません。
- ③ 欠席科目があった場合は、合否判定の対象外となります。

## 14. 不正行為について

早稲田大学では、入学試験を厳正に実施し、全ての受験者が公平・公正に受験できるよう、適切な受験環境の保持に努めています。本学入学試験の受験に際しては、以下に定める注意事項を熟読のうえ、真摯な態度で試験に臨んでください。

- a. 本学に提出した書類・資料、提供した情報等(以下、「本提出書類等」といいます。)に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為認定の対象となります。
- b. 次のことをすると不正行為認定の対象となります。
  - ① カンニングをすること(試験時間中にカンニングペーパー・参考書等を隠し持つ・使用する、他の受験者の答案等を見る、答えを教わる、身体・物品・机等にメモをする、メモを見るなど)。
  - ② 試験時間中に使用できる物品以外の物品を使用すること(机の上に置くこと、身に付けることを含む)。
  - ③ 監督員による「試験開始です。」の指示の前に、問題冊子・解答用紙に触れること(冊子を開く、解答を始める、裏面・余白等に書き込みを行うなど)。
  - ④ 監督員による「試験終了です。筆記用具を置き、解答用紙を裏返しにしてください。」の指示に従わず、筆記用具を持っていたり解答を続けたりすること。
  - ⑤ 試験時間中に、答えを教える等他の受験者を利するような行為をすること。
  - ⑥ 試験時間中に電子機器等の音(着信・アラーム・振動音等)を鳴らすこと。
  - ⑦ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
  - ⑧ 試験場において監督員等の指示に従わないこと。
  - ⑨ 受験者以外の者が受験者本人になりすまして試験を受けること。
  - ⑩ 解答用紙を持ち帰ること。
  - ⑪ その他、試験の公平性・公正性を損なう行為をすること。
- c. 不正行為の疑いがある場合、次のような対応をとることがあります。これらに応じない場合、不正行為を自認したものとみなします。
  - ・監督員等が注意をする、または事情を聴くこと。
  - ・別室または別席での受験を求めること。
  - ・本提出書類等につき、その真正性等を確認するために、本学が発行元・提供元または論文審査機関等に対して、本提出書類等を提供して問合せをすること。出願者は本提出書類等を本学に提出または提供したことをもって、本学がこの問合せを行うことに同意したものとす。
- d. 不正行為と認められた場合、次の対応をとります。
  - ・当該年度における本学の全ての入学試験の受験を認めないこと(入学検定料は返還しない)。
  - ・当該年度における本学の全ての入学試験の結果を無効とすること。
 なお、入学後に不正行為と認められた場合は、本学規程に基づき入学取消とします。

※この「入学試験要項」では、携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ、スマートグラス、ワイヤレスイヤホン等（Bluetooth、Wi-Fi、データ通信等、日時・時刻以外の情報を送信、受信、または送受信が可能な機能が搭載された機器）をすべて含めて「携帯電話等」と表記しています。

大学が極めて悪質かつ重大であると判断した不正行為については、警察への通報や不正行為者の所属機関・保護者等への報告を行う場合があります。

## 15. 免責事項

本学では、入学試験の実施に際し、以下のような対応をとることがあります。予めご了承ください。

### ◆受験環境について

可能な限り公平・静粛な受験環境の確保に努めますが、やむを得ず以下のような対応をとることがあります。

- ①生活騒音（自動車・航空機・風雨・換気・空調の音、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音、携帯電話等の鳴動など）が発生した場合でも、原則として特別な措置は行いません。また、試験中に監督員が小声で最低限の打ち合わせを行う場合がありますが、この場合も原則として特別な措置は行いません。
- ②試験中に携帯電話や時計等の音・振動などが発生し、発生源のかばんなどが特定できた場合、持ち主の同意なく監督員が試験教室外に持ち出し、試験本部で保管すること、あるいはかばんの中から携帯電話・時計等を取り出し鳴動停止の操作をすることがあります。
- ③隣席の受験者の手洗いや、体調不良による入退室のため、監督員の指示により席を立っていただくことがあります。その場合でも、原則として試験時間の延長等特別な措置は行いません。
- ④机、椅子、空調、音響設備等の試験教室による違いは一切考慮しません。
- ⑤他の受験者が迷惑と感じる行為がある場合、別室または別席での受験を求めることがあります。
- ⑥受験者の周辺より異音等が確認された場合、詳細を確認するため、監督員等が座席付近を重点的に巡回したり点検したりすることがあります。

### ◆不可抗力による事故等

台風、洪水、地震、津波等の自然災害または火災、停電、その他不可抗力による事故等や交通機関の乱れが発生した場合、試験開始時刻および終了時刻の繰下げ、試験の延期等の対応措置をとることがあります。ただし、それに伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については一切責任を負いません。

## 16. 合格発表

### 1) 日程

第1次試験合格発表	最終合格発表
2026年7月8日(水)	2026年7月27日(月)

### 2) 方法

合格発表については、当研究科Webサイトに「合格者受験番号表」を発表日17:00に掲載します。最終合格者には、通知書他、入学諸費用の振込用紙(学費等振込依頼書)等を郵送します。

※電話、E-mail等による合否に関する問い合わせには回答しません。

※最終合格者の方で、合格者発表日の1週間後になっても、通知書他、入学諸費用の振込用紙(学費等振込依頼書)等の郵送物を受領していない場合は、当研究科入試係まで問い合わせてください。

## 17. 入学手続

所定の期間内に、①入学手続情報の入力<UCARO>②入学手続料(登録料・学費・諸会費)の納入<銀行振込>、③入学手続書類提出<郵送>の3点を完了することにより、入学手続が完了します。登録料は、入学者に限り「入学金」に振り替えます。入学手続期間後の入学手続はどのような事情があっても一切認めませんので、十分注意してください。詳細は入学手続書類交付時にお知らせします。なお、入学時期の延期、変更等はできません。入学手続書類は、住所宛に入学手続期間が近くなりましたら、郵送します。転居した場合は、必ず当研究科入試係に連絡してください。

2026年9月入学	入学手続料振込期限	2026年8月18日(火)
	入学手続期間 (入学手続情報の入力<UCARO>・書類提出)	2026年8月上旬 ～8月18日(火)(消印有効)
2027年4月入学	入学手続料振込期限	2026年8月18日(火)
	入学手続期間 (入学手続情報の入力<UCARO>・書類提出)	2027年2月上旬 ～2月16日(火)(消印有効)

※日本国外から発送する場合は、締切日必着とします。

## 18. 入学金免除

本学、本学大学院または専攻科の在学、卒業、修了または退学者が入学する場合、入学金が免除されます。詳細については、合格者に送付される「入学手続の手引き」をご参照ください。

## 19. 入学辞退にともなう学費返還

一度提出した書類および納入した登録料・学費・諸会費(第一期分)は、原則として返還しません。ただし、やむを得ない事情により入学を辞退する場合や、入学までに入学資格を満たさなかった場合には、学費・諸会費(第一期分)のみ返還の対象となります。手続方法等、詳細については、合格者に送付される「入学手続の手引き」をご参照ください。

## 20. 在留資格「留学」の取得について

留学センター在留資格 Web サイト: <http://www.cie-waseda.jp/visastatus/jp/index.html>

早稲田大学への入学を許可された外国学生は、在留資格「留学」を申請することができます。「留学」の在留資格を有する学生は、外国人留学生授業料減免や留学生対象奨学金を申請することができます。「留学」以外の在留資格でも入学することはできますが、上記のような留学生対象の各種補助制度を利用できませんのでご了承ください。

「短期滞在」の在留資格で大学に在籍することはできませんので注意してください。

### (1) 在留資格を有していない場合

在留資格を申請するには、まず日本国内の出入国在留管理局に「在留資格認定証明書」(Certificate of Eligibility=COE)を申請する必要があります。当研究科では所定の**入学手続を完了した国外居住の外国籍学生に限り**、本人に代わって出入国在留管理局に COE の代理申請を行います。所定の書類が提出されない場合や書類に不備がある場合は、「在留資格認定証明書」の代理申請は行いません。代理申請後、COE が出入国在留管理局より当研究科に交付されましたら、申請者に入学許可書とともに郵送いたします。COE を受け取った後は、パスポート、入学許可書とともに国籍を有する国または居住国の日本大使館、領事館で「留学」ビザ(査証)を申請してください。COE の有効期限は発行日から3か月です。有効期間内にビザを取得し、渡日してください。COE 代理申請書類の受取りから出入国在留管理局への代理申請、審査、COE の交付まで2~3か月程度を要しますので、すみやかに入学手続を行ってください。

**【注】代理申請は、学費等振込を完了しないと行いません。**希望者は、すみやかに振込を済ませ、早急に代理申請手続について当研究科入試担当にメールでご連絡ください(返信時に「在留資格認定証明書代理申請依頼書」をお送りします)。

フィリピン/ベトナム/インドネシア/ネパール/ミャンマー/中国の国籍を有する志願者は、在留資格認定証明書(COE)の申請時に、通常の申請書類に加えて、結核を発病していないことを証明する「結核非発病証明書」の提出を求められます。国によって適用開始時期が異なりますので、対象国の国籍を有する方は、以下の資料で詳細を必ずご確認ください。

<https://www.waseda.jp/inst/cie/news/40765>

### (2) 「留学」の在留資格を有している場合

現時点ですでに「留学」の在留資格を有している場合は、必要に応じて「在留期間更新許可申請」を行ってください。在留期間の更新は在留期間満了日の3か月前から手続きできます。在留期間更新手続に関する詳細は、以下の Web サイトを参照してください。

<https://www.cie-waseda.jp/visastatus/jp/prospective/#section-2>

### (3) 「短期滞在」の在留資格を有している場合

現時点で「短期滞在」の在留資格を有している場合は、原則として一度国外へ出て「留学」の在留資格を申請する必要があります。「留学」の在留資格の申請方法については、「(1) 在留資格を有していない場合」を参照してください。

### (4) 「留学」「短期滞在」以外の在留資格を有している場合

「定住者」、「家族滞在」などの在留資格を有している場合は、特に手続の必要はありません。ただし、「留学」の在留資格へ変更を希望する場合は、「在留資格変更申請」を行ってください。手続に関する詳細は、以下の Web サイトを参照してください。

<https://www.cie-waseda.jp/visastatus/jp/prospective/#section-3>

【注】在留期間更新許可申請書および在留資格変更許可申請書には、早稲田大学が発行する書類が必要です。出入国在留管理局に申請する前に、申請書、入学許可書およびその他申請に必要な書類を当研究科事務所に持参してください。

(5) 在留資格の取得、変更(自己申請)

〈査証免除／短期滞在ビザで入国している場合〉

査証免除／短期滞在ビザ(観光、商用、知人・親族訪問等 90 日以内の滞在で報酬を得る活動をしな  
い場合)で入国した場合、原則として、一度出国し、国籍を有する国または居住国の日本大使館・領事  
館で COE を提出し、留学ビザを取得してから再入国してください。しかしながら、入学試験日が年度末  
(2月末、3月)で、新学期前に帰国が難しい場合は、志願者本人が東京出入国在留管理局でCOEの  
申請を行い、COE が発行されたら、資格変更許可申請を行うことは可能です。ただし、例外的な申請と  
なりますので、在留資格の取得が許可されない場合もあります。在留資格審査は出入国在留管理局が  
行うため、審査の期間や結果について、早稲田大学は一切責任を負いません。

(6) その他注意事項

- ・当研究科が代理申請を行う在留資格は「留学」のみです。その他の在留資格を申請する場合は、自  
身で出入国在留管理局に申請してください。
- ・必要に応じて、出入国在留管理局から追加書類を要求されることがあります。
- ・事情により早稲田大学への入学を辞退する場合は、理由書(書式自由)とともに至急COEを当研究  
科へ返送してください。また、他大学も合格した場合、COEの交付申請が重複しないように注意してく  
ださい。重複している場合、証明書は交付されません。
- ・重国籍者で日本国籍を有する場合は、COEを申請できません。
- ・在留資格審査は出入国在留管理局が行うため、交付が遅れる場合や不許可となった場合、航空券の  
違約金等、早稲田大学は一切の責任を負いません。渡航手配は慎重に行ってください。
- ・在留資格「留学」の手続に関しては早稲田大学留学センター(E-mail: [cie-zairyu@list.waseda.jp](mailto:cie-zairyu@list.waseda.jp)) また  
は当研究科(E-mail: [weee-ent@list.waseda.jp](mailto:weee-ent@list.waseda.jp))へ問い合わせてください。

## 21. 学費・諸会費

当研究科修士課程(2026年4月入学者)の学費等は、以下のとおりです。2027年度の学費等は、確定  
後、入学センターWebサイトに掲載されますので、下記 URL より確認してください。

<http://www.waseda.jp/inst/admission/graduate/fees/>

【参考】2026年4月入学者の初年度学費明細(参考) (単位:円)

入学金	授業料		実験演習料		学生健康増進 互助会費、学 期毎	合 計
	春学期	秋学期	春学期	秋学期		
300,000	486,500 (入学時)	486,500	47,000 (入学時)	47,000	1,500	入学時 835,000 秋学期 535,000

【参考】2026年4月入学者の第2年度の学費明細(参考) (単位:円)

年度	授業料		実験演習料		学生健康増進 互助会費、学 期毎	合 計
	春学期	秋学期	春学期	秋学期		
第2年度	636,500	636,500	48,000	48,000	1,500	春学期 686,000 秋学期 686,000

※本学、本学大学院または専攻科の在学、卒業、修了または退学者が入学する場合、入学金が免除されます。

※学費等は改定されることがあります。

※上記表の学費等の他に、最終学年・最終学期に校友会費10年分(割引適用40,000円)が必要となります(本学学  
部出身者、編入学、一貫制博士課程、博士後期課程、科目等履修生、ダブルディグリーは対象外)。

## 22. 奨学金

奨学金制度については、奨学課の Web サイト(<https://www.waseda.jp/inst/scholarship/>)を参照してくだ  
さい。

## 23. その他

当研究科の授業は、主に早稲田・西早稲田の2キャンパスで開講しています。

## 24. 連絡先

早稲田大学 大学院環境・エネルギー研究科入試係  
 〒169-8555 東京都新宿区大久保3-4-1 西早稲田キャンパス51号館1階  
 E-mail: [weee-ent@list.waseda.jp](mailto:weee-ent@list.waseda.jp)  
 事務所開室時間: 月曜～金曜 10:00～16:00  
 お問い合わせ・連絡は、E-mailでお願いいたします。

### 研究指導および担当教員

研究指導	担当教員	授与学位
環境・パワーシステム研究	教授 博士(工学)早大 草鹿 仁	工学・学術
環境・エクセルギー工学研究	教授 博士(工学)早大 中垣隆雄	工学・学術
環境システム評価研究	教授 博士(工学)早大 納富 信	工学・学術
環境・電気エネルギー研究	教授 博士(工学)早大 紙屋雄史	工学・学術
環境配慮エネルギー・循環システム研究	教授 博士(工学)早大 小野田弘士	工学・学術
環境共生・地域社会システム研究	教授 博士(公共政策分析) 政策研究大学院大学 野津 喬	学術
環境・エネルギーガバナンス研究	教授 博士(社会工学) 筑波大学 馬場健司	工学・学術
環境・物理化学プロセス研究	准教授 博士(工学)早大 大内隆成	工学・学術
環境・エネルギーシステム工学研究	准教授 博士(工学) 東京大学 大槻貴司	工学・学術

### 修士課程 研究指導内容

#### 環境・パワーシステム研究

草鹿 仁

現代の環境問題の多くは燃焼に起因するものであり、近年では種々の環境汚染化学物質が注目されている。今後は、このような環境汚染化学物質の生成・分解過程の解明に対する要求はより一層高まるものと考えられる。このような状況をふまえ、主に内燃機関、エンジンシステムを対象に化学反応により支配される燃焼現象及び有害排出物質の生成・分解過程を扱う。さらに次世代のエネルギー変換システムである燃料電池とそれを応用したエンジンシステムについて研究する。

#### 環境・エクセルギー工学研究

中垣 隆雄

持続可能なエネルギー社会の実現には、温室効果ガスの削減に向けた技術開発が急務である。電気・熱・化学などの形態におけるそれぞれの長所を生かしたエクセルギー視点での環境負荷の小さいエネルギーシステムの構築が極めて重要であり、本研究では以下のようなテーマを指導する。

- ・再生可能エネルギーの有効利用に資するエネルギーストレージに関する研究
- ・二酸化炭素分離回収固定化技術(CCS)
- ・化学、電気化学的なエクセルギー再生技術と鉄鋼および工業炉への適用研究

・燃料電池、リチウムイオン電池などの内部の反応・輸送現象の解明と新たな作製方法の開発

俯瞰的に技術を見渡せる視野を持ち、確かな学力に基づく課題発見、解決力のある人材育成を目指す。

#### 環境システム評価研究

納富 信

エネルギー等の枯渇性資源の消費、生態系サービスへの過度な負荷を起因とする地球システムの環境システム容量の限界への懸念が大きく叫ばれる中、持続可能な社会を創り上げるためには、エネルギーならびに環境問題の解決が不可欠であり、それには新たな技術システムや社会システムなどの導入・普及対策が重要である。

特に、それらの対策が、現在から将来にわたる時間軸において発生する影響と社会全体に普及させた場合の効果、時間的・空間的に予測、定量化して、適切な選択肢を与える評価手法の開発が求められている。

そこで本研究指導では、持続的な社会の営みに必要なエネルギーならびに環境システムを構築するのに必要な技術システム、社会的システムのあり方などを、環境面・経済面・社会面で評価する手法を研究し、それを適用することを通じて、課題・問題の所在の明確化、解決に向けた手法の考案、社会に貢献できるスキルとテクニックを開発・修得することを目指す。

### 環境・電気エネルギー研究

紙屋 雄史

近年、自動車の分野においても、いわゆる環境・エネルギー問題の克服がきわめて重要なテーマとなっており、関連する企業や研究者に対しては、内燃機関の一層の性能向上とともに、それに代わる新たな動力システムの研究開発が求められている。このような背景のもと、ここでは環境調和性に優れた電動車両(電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車、等)を対象とした研究指導を行なう。電動車両は、従来の自動車と比較して「温室効果ガス削減効果」「エネルギーシフト効果」「周囲環境負荷低減効果」「乗車環境改善効果」が極めて高い。しかし、主に「バッテリー」とバッテリーへの「充電」に大きな技術的課題を抱えており、なかなか大量普及出来ない状態となっている。そこでここでは、車両本体の設計・製作・環境調和性評価と、これらに共通して搭載される機器類(バッテリー、モータ、充電システム等)の性能向上を図ることで、それぞれ固有の課題を解決すると同時に、共通の「バッテリー・充電問題」に対処していく。

### 環境配慮エネルギー・循環システム研究

小野田 弘士

低炭素社会、循環型社会の構築に向けて、社会実装を念頭ににおいた次世代型の社会システムの構築に資する技術・システムの開発に関する研究を展開している。ライフサイクル思考に基づくシステム工学的なアプローチを基軸としながら、社会受容性を考慮した学問領域統合型の視点を取り入れている。多様な産学官連携により、プロジェクトベース型の研究を展開していることも特徴である。研究分野は、スマートコミュニティ、次世代モビリティシステム、未利用バイオマス利活用技術・システム、再生可能エネルギー利用技術・システム、エネルギーマネジメントシステム、環境配慮設計、LCA、資源循環および廃棄物処理技術・システム、ビジネスエコシステム等。

### 環境共生・地域社会システム研究

野津 喬

近年、環境問題を単独の課題としてとらえることは難しくなっています。環境問題を理解し、解決するためには、環境、経済、社会のすべての観点から考えることが必要です。地域社会は、環境、経済、社会に関する課題とポテンシャルの双方を有していることから、新たな環境共生社会を実現するための実践の場として注目されています。

本研究指導では、地域資源の活用を通じた、環境と調和した持続可能な地域社会システムの実現に向けた研究を行います。特に環境、エネルギー、地域、食料、農業など多面的な分野の相互関係に着目して、社会科学及び政策的な観点から研究を行います。研究テーマの例としては以下のようなものがあります。

再生可能エネルギーやバイオマスなど未利用資源の活用による地域活性化、環境循環共生政策、農業政策、食料政策、地域政策、食料産業・農業におけるイノベーションシステムの構築、遺伝資源 など。

### 環境・エネルギーガバナンス研究

馬場 健司

脱炭素社会、循環型社会、自然再興社会への移行(トランジション)を目指して、新しい技術の導入や社会変容が求められている。しかしながら、再生可能エネルギー(再エネ)施設を大量導入しようとする、生態系や景観、地域資源配分等、いわば地球環境と地域環境や社会との間でトレードオフが発生するケースがある。また、長期的な環境リスクは多くの人々にとって自分事として捉えられず、例えば気候変動への適応行動や環境配慮製品の購入行動は発生し難い状況にある。さらに、移行を促進する革新的な政策は形成され難く、それが多くの都市や地域でも採用される状況も稀である。このような課題に対応すべく、環境政策学、政策過程論、合意形成学、行動科学等のフレーム、アプローチにより、再エネ施設立地と合意形成、気候変動影響のシチズンサイエンス、環境配慮行動の発生と態度行動変容、熟議型手法の開発と運用、気候トランジション、政策イノベーションの発生・波及過程等の研究を行う。

### 環境・物理化学プロセス研究

大内 隆成

持続的な金属資源の確保を目的に、環境負荷の低減とエネルギー利用の高度化を両立する金属製錬・リサイクルプロセスの開発を、物理化学・熱力学・電気化学・反応工学・材料科学を基盤に推進する。貴金属(Au、Ag、PGMs)、レアメタル(W、Ti)、活性金属(Ca、Mg、希土類)を対象とする製錬・リサイクルプロセスの開発に加え、ベースメタル(Cu、Pb、Zn、Fe)からの貴金属・レアメタル不純物の選択除去・濃縮・回収プロセスの開発、さらには金属析出・溶解プロセスの基礎解析にも取り組む。研究背景となる製錬技術や金属商流の歴史と現状の調査、プロセスの基礎理論、実験計画、データ解析、論文執筆・学会発表までを徹底的に指導し、環境・エネルギーの視点を持って自立して研究を遂行できる研究者・技術者の育成を目指す。さらに、産学官連携、国際連携に関わる活動も積極的に推進する。

### 環境・エネルギーシステム工学研究

大槻 貴司

持続可能な社会の実現に向けては、経済性や産業競争力を維持しつつ、環境性・強靭性が高いエネルギー・電力システムに移行することが重要です。しかし、エネルギー・電力システムの計画では様々な

要因(技術や時間軸、エネルギー資源やインフラの地域特性など)を考慮する必要があり、それらを総合的に捉えた分析手法が必要です。そこで本研究指導では、数理計画法や地理空間分析、機械学習、計量経済分析などを基に、世界や国レベルのエネルギー・電力システムを計画・分析するための手法(エネルギーシステムモデルや電源構成モデル等)の開発に取り組んでいます。新たなモデル開発による学術的貢献のみならず、政府および産業界のエネルギー戦略策定や技術評価を支援することを目指しています。主な研究テーマとしては、再生可能エネルギーや水素の最適導入量評価、最終消費者の技術選択(自動車や給湯技術など)、エネルギーおよび重要鉱物フローの統合的評価、エネルギー安全保障と気候変動対策の両立戦略、ならびに再生可能エネルギー資源量の評価です。

## 試験場案内

### 西早稲田キャンパス

#### 電車で

- ・ JR山手線 高田馬場駅から徒歩15分
- ・ 西武新宿線 高田馬場駅から徒歩15分
- ・ 副都心線 西早稲田駅に直結
- ・ 東西線 早稲田駅から徒歩22分

#### バスで

- ・ 都バス  
新宿駅西口 - 早稲田 (早大理工前下車)  
高田馬場駅 - 九段下 (早大理工前下車)

